

市民合意も得ず、MICE 整備 450 億円の投資は許されない

12 月議会最終日、桜町再開発の保留床を 283 億 3000 万円で取得する議案を可決

12 月議会には、桜町再開発の床を 283 億 3000 万円で購入し、MICE 施設（仮称・熊本城ホール）を整備する議案が提出されていました。日本共産党市議団は、一般質問（やまべひろし議員）・経済委員会（なすまどか議員）・最終日の質疑（上野みえこ議員）を通して、その問題点を指摘し、市政史上最大のハコモノ整備の中止を強く求めました。

「283 億円」、保留床価格の妥当性も検証されていない

工事費の検証では、工事費の内訳明細書の単価・メーカー・見積もり金額など、すべて真っ黒に墨塗りです。保留床価額の検証も、MICE 部分以外の数値はほとんど黒塗りで、妥当な積算なのか、評価のしようもありません。

市民への説明責任も果たさず、合意も得られていない

市は、パブリックコメントやアンケートで市民の意見を聞いてきたと説明しますが、パブコメは「震災復興計画」のもので、意見を寄せたのはわずか 14 人。そのうち、MICE への意見は 6 件でした。MICE について意見を聞いたと言えるようなものではありません。

しかも、そのうち 1 件は説明責任を求める意見。2 件が桜町周辺の整

不動産鑑定（原価法により取引事例比較法を適用して査定）では、土地も建物も、取引事例の大事な部分は黒塗りで、標準価格査定が妥当か、確認できません。

民間事業者の言い分を鵜呑みにするしかない検証です。

備と施設についての意見。残り 3 件は、MICE の凍結・中止を求める意見でした。市民が理解していると言えるような内容ではありません。

MICE 整備は、熊本地震の復興に多額の費用を必要とする中、最優先で取り組んでいます。市民の意向を聞かず、「震災復興計画」の重点プロジェクトに位置付けたことにも大きな誤りがあります。

あまりにも大きな財政負担は、震災復興にも逆行

補助金含め 450 億円にも上る税金投入となる MICE 整備は市政史上最大のハコモノであり、財政的な負担が大きすぎます。

12 月議会までに提案された復興予算は 1095 億円。莫大な復興予算は、全額国庫負担ではなく、財源ねん出に市も苦慮しています。9 月議会では、本年度当初予算が 100 億円

削減されました。新年度予算編成では 15% の予算カットです。何らかの事業を止めないと予算がたちません。100 億円あった財政調整基金も取り崩し、今や 22 億円です。そんな時に、復興とは別物の MICE 整備を聖域にして無理やりすすめること、熊本地震復興と MICE 整備の両立に多くの市民が疑問を持っています。

450 億円の税金投入、誰のための再開発？

桜町再開発は、事業主体の「HIS」、総事業費の大部分 607 億円もの工事費を払う「大成建設」など、県外大企業がすすめています。総事業費の半分以上を公費で負担し、運転資金を市が無利子で 66 億円も貸し、老朽化したバスターミナルを建替え、マンション分譲やホテル・商業施設でも利益を得ます。地元の県民百貨店やセンタープラザテナントを追い出し、できた再開発ビルに県外企業・テナントしか参入しなかったら、400 億円以上の税金は誰のために使われることになるのでしょうか。

【陳情書に寄せられた市民の声】

「地震からの復興に多額のお金と時間がかかると言われている中で、市が計画している MICE 施設を整備する場合、更なるお金を市民が負担しなければならないことを、私たち市民の多くが初めて知りました。市立学校の体育館・市民病院・熊本城などの復旧・復興……。元の姿を取り戻すためにやるべきことは山のようにあり、膨大な時間とお金がかかります。それもまだ手付かずの今、MICE 施設を整備することは、本当に必要なのだろうか？疑問がわいてきました。」

2017年 あけましておめでとうございます



いのち・暮らし最優先で、震災復興の1年に

上野 みえこ



あけましておめでとうございます。

昨年は、4月に発生した熊本地震によって未曾有の被害を受け、私たちの暮らしは一変、それから8カ月余り、震災からの復旧・復興を最優先とする日々が続いてきました。1日も早い復興をと願わずにはられません。

国の新年度予算は過去最大規模です。しかし、軍事費や不要不急の大型開発に巨額な税金を投入しながら、医療介護の負担は増やし、年金は切り捨てるなど、国民生活には冷たい予算です。

一方熊本市では、熊本地震の復旧・復興に莫大な費用が必要な中、市民の声も聞かず、熊本市が最優先ですすめているのは、450億円もの税金をつぎ込む桜町再開発・MICE整備です。

日本共産党市議団は、市民のいのち・暮らし最優先で、1日も早く、すべての方々が元の暮らし・生業を取り戻せるようにと、今年も頑張ります。どうぞ、よろしく願いいたします。

市民と野党の結束 さらに強く！

なすまどか



地震により、多くのものを失った昨年。それでも、一人一人が日常を取り戻そうと、幾多の困難に立ち向かった年だったと思います。復興への道のりはまだ始まったばかりですが、全ての方が地震前の生活を少しでも早く取り戻せるよう力を尽くす決意です。

昨年末の国会では、「カジノ推進法」「TPP関連法」「年金削減法」など、毎週のように強行採決が行われ、暮らしを脅かす悪法が成立しました。数にものを言わせ悪法をゴリ押しするしかない姿は、「強さの現れ」ではなく、自らの政治路線の行き詰まりを示す「弱さの現れ」にしか見えません。

日々発展している市民と野党の協力・共闘により、安倍政権を終わらせる年にしていきたいと決意を新たにしています。

市民の暮らし優先の市政へ

やまべひろし



熊本をおそった未曾有の大地震は、私たちの生活を大きく変えました。被災された皆さんとの対話のなかで、弱い立場の方ほど震災からの生活再建が困難であることが、あらためて浮き彫りになりました。

こういう時にこそ、被災者の実態に寄りそった、心が通う支援が求められます。しかし、実際は、既存の制度の枠に被災者をはめ込むような支援にとどまっているのが現状です。支援の手のひらからこぼれる被災者へは、市独自に制度を創設し支援していくことが必要です。

復興のための財政を圧迫する大型開発優先ではなく、生活、生業の再建最優先の市政こそが、いま求められています。また、出張所の廃止問題や政令市で一番高い国保料など、市民が改善を求める問題も山積しています。市民の暮らし優先の市政実現のために、今年も力を尽くしていきます。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか やまべひろし
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/
熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO.1029
2017年1月1・8日合併号
電話 328-2656
FAX 359-5047



困ったことのご相談は、

日本共産党熊本市議団へ ☎328-2656